

予算議案を 問う

一般会計予算議案に対する討論(要旨)

3月26日の本会議で令和2年度一般会計予算議案に対する表決に先立ち、各会派等を代表して賛成・反対の討論が行われました。各会派等が一定のスペース内で自由にまとめたものを掲載しています。実際の討論は、自由民主党市議団、国分寺政策市民フォーラム、公明党、日本共産党国分寺市議団、無会派(国分寺・生活者ネットワーク)、無会派の順番で行われましたが、紙面の都合上このように掲載しています。

賛成

持続可能な財政と市民第一の政策展開を

財政全体について 収支均衡型予算を評価

令和2年度の一般会計予算は476億8,885万4千円と前年度比較で15億6,374万8千円(3.4%)増の過去2番目の規模での予算となった。歳出では保育所委託費等の増加要因が、歳入ではふるさと納税を原因とする税源流出等による減収要因があるなど依然楽観視できない状況にあるが、これまで同様ゼロベースでの見直しを進め、結果として経常収支比率の引続きの改善や公債費の未償還額の減少等を見込むなど収支均衡型予算として評価できる予算編成となった。一方、市の将来の財政を一定拘束する債務負担行為について近年大きく増加傾向にあることが懸念される。事業一つ一つは必要性に基づき設定されたものだが、全体としてどうコントロールしていくのか他市状況調査等も含め検討を求める。中長期的に人口減少は不可避とされる中、市税に歳入の多くをよる本市として引き続き将来世代につなぐ持続可能な財政経営継続を求める。

新庁舎建設と仕事改革について

令和2年度においては設計・建設に向け事業者

選定が予定され、またこれとあわせ仕事改革・生産性向上を目的にAI-OCRやRPA等のIT技術活用推進に関連する予算も計上されている。ハード・ソフト両面で既存のやり方に捉われない新たな市役所をつくり上げることを求める。また現庁舎用地活用についても衆知を集め恋ヶ窪周辺はもとより全市にわたっての納得感ある賑わい創出に資する取組みを求める。

市民の安心安全のため ブロック塀調査事業

多摩地域初となる市内全域のブロック塀の安全性の実地調査が行われることを評価。市民の安心安全への市長の強い思いの表れとして認識。

体育館へのエアコン設置 子供施策について

昨年設置の第一中学校体育館の空調設備の効果検証と他市状況調査を踏まえ、令和2年・3年度にかけ市内小中学校全校の体育館にエアコンが設置されることになった。効果と財政両面でしっかり検討した上での判断であり評価する。また幼児教育・保育無償化の非対象児童に対する「幼児養育費補助金」は国に先駆け創設される市の独自の取組みであり高く評価する。

その他 引続きの保育所の誘致・整備、学童保

自由民主党市議団 (賛成8人)

小坂みちよ 吉田りゅうじ
丸山 哲平 田中 政義
尾作 義明 新海 栄一
尾澤しゅう 本橋たくみ



丸山 哲平

育所拡充、高齢者福祉分野も含めた人材確保支援の充実、健康寿命延伸に向けた各種取組みや国分寺駅北口事業の完成等々、既存の事業・取組みのさらなる推進と強化についても取りこぼしなく計上されていると判断、評価する。

新型コロナウイルス感染症への対応について

日々情勢が変化し、影響の程度や収束時期など現時点で断定出来ない状況だが、既に一斉休校や諸活動の停滞等、市民生活に大きな影響もたらされている。こうした中、市民の安心と安全を担保するため新規歳出の必要性が出てくるのが予想される。市長には強いリーダーシップを発揮し、もとより経常的支出への基金等の活用には慎重であるべきだが、現下の臨時的・緊急的な状況においては大きな財政的支出も必要となれば果敢に進めることを求める。政策・資本の漸次投入ではなく大胆な取組みが必要である。状況認識はシビアに、対応には希望と実行力をもってあたることを求め賛成討論とする。

賛成

市民のために第一に考え予算の執行にあたり

令和2年度の予算規模は476億8,885万円で過去2番目だが平成29年の国分寺駅北口再開発ビル関連の予算を除くと過去最大になる。

昨年の財政フレームでは令和2年度は2億9,000万円の財政不足と予測されていたが、歳入歳出ともにゼロベース積み上げ方式で編成した結果、財政調整基金を取り崩すことのない収支均衡予算となったことは厳しい財政状況を考えると大いに評価できる。

国分寺市の人口は新しい人口ビジョンでは令和12年度まで増加が続き、昨年の人口増加率は多摩26市で1位だった。人口増と雇用・所得状況の安定により収入の50.1%を占める市税は昨年比5億4,000万円増の238億9,000万円を見込んでいる。ふるさと納税による5億円減などもあるものの地方消費税交付金の6億円増も見込み令和2年度も普通交付税は不交付となる見込み。

歳出については扶助費142億、人件費77億、事業費42億、補助費等は51億円となっている。

令和6年度までの財政フレームでは令和3年度から財政不足が見込まれ、新庁舎の建設などを考えれば一定理解できるが、令和6年度の基

金残高54億では基金残高50億円の目標ぎりぎりであり楽観できない状況である。

今年一番大きなイベントであった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大で一年延期することになった。残念だが来年度にむけていろいろ工夫して違った形でイベントなどできればと考えている。

新規事業についても小・中学校体育館へのエアコン整備、バリアフリー基本構想の検討、西武線のホームドア整備、保育所4園新設、幼児養育費の補助金創設、新幹線のリフレッシュ、PR動画の作成、国分寺駅北口交通広場の工事完了、プレイステーションの移設、ブロック塀の全調査、正規職員採用年齢の40歳までの拡大などについて評価する。

4/1から長年の懸案であった可燃ゴミの共同処理が始まる。清掃センターの火災など予期せぬことも起こり得るので順調な進行管理をお願いしたい。

7月からのペットボトルの戸別収集についてはあくまで排出抑制を目標にして店頭返却への

国分寺政策市民フォーラム (賛成4人)

だて淳一郎 はせべ豊子
星いつろう 及川 妙子



及川 妙子

より一層の周知を徹底してほしい。

4/1から導入される会計年度任用職員制度についてはそれまでの報酬月額を下回らないことが確認されているが、適正配置を行ったことから職場での混乱がないように慎重かつ柔軟な対応をお願いしたい。

令和2年度は長年の懸案であった国分寺駅北口再開発事業が年内の交通広場完成をもって終了し、新庁舎の場所が決まり、新しいスタートを切る節目の年になる。大いに市民参加を進めて盛りあげていただきたい。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため3/2から小・中学校は休校、イベントは中止、公共施設も休館となっている。今後については定かではないが当市の予算にもさまざまな影響がでるだろう。想定外のことが次々とおこる昨今、自治体経営も至難のわざだが、常に危機意識をもち、何が最善かを考え、何よりも市民のために第一に考え予算の執行にあたっていただきたい。

賛成

コロナ問題対応へ財政調整基金の活用を！

令和2年度予算が収支均衡になったことは高く評価する。しかしながら令和3年度以降は令和6年度までの4年間で約30億円の歳出超過が見込まれており、一層の財政規律を望む。

9年前にはほぼ底をついていた、市の貯金である財政調整基金を48億8千万円まで積み増したことは評価するが、現下のコロナ対策などの緊急対応にこそ躊躇することなく活用すべきだ。

ふるさと納税の流出が止まらず、健全な財政運営にも影響しかねない。しっかりとした対抗策を考えていくべきであろう。

歳入に関わり、納税催告書の第三者への誤送付という事実を明らかにした。個人情報保護の観点からも決してあってはならず、再発防止の事務改善を求める。歳出に関しては概ね適切な予算計上であると評価するが、中長期的視点で、

無会派 (賛成1人)

木村 徳



木村 徳

土地の賃貸借により設置・運用されている公共施設に関しては速やかに賃貸借を解消すべきだ。

コロナ問題を乗り切るために、市長の一層のリーダーシップで市民の生命・安全・健康を守って頂くことを求めて本予算案に賛成する。